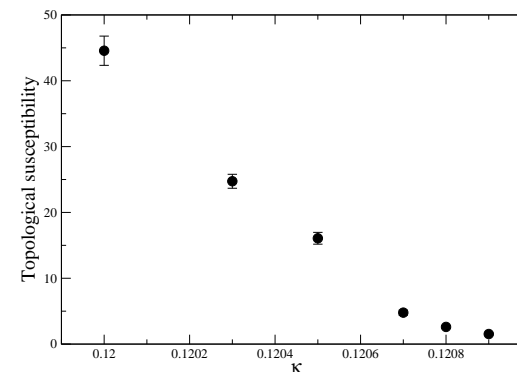
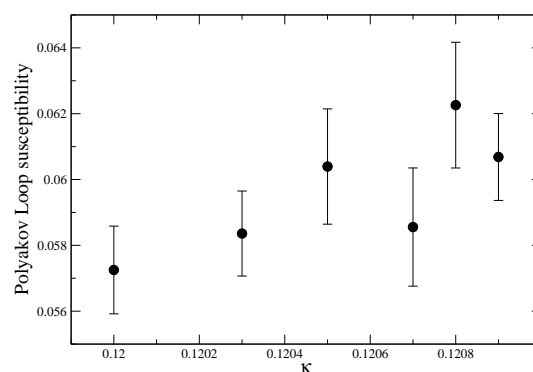
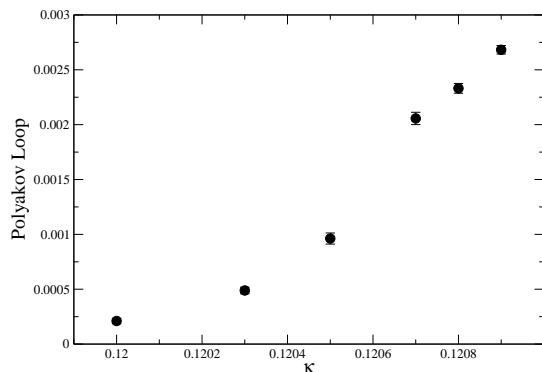


格子 QCD による有限温度 QCD の研究

scknzw グループ：駒美保，駒佳明，長谷川将康，石黒克也，森祥寛，中村宜文，鈴木恒雄

- scknzw グループはこれまで DESY と ITEP のグループらと，DIK 共同研究組織として，2フレーバークォークを動的に扱う有限温度格子 QCD の数値シミュレーション研究を行い，カイラル対称性の自発的破れと回復，カラー閉じ込め・非閉じ込め相転移の研究を行ってきた。本研究ではより現実的なストレンジクォークの寄与も加えた**3フレーバード動的クォークの有限温度格子 QCD 数値シミュレーション**を行った。
- これまでの主な研究成果： $N_t = 12$ における Polyakov ループ（左）と Polyakov ループサセプタビリティ（中）とトポロジカル電荷サセプタビリティ（右）



- 相転移点は $\kappa = 0.1205 \sim 0.1208$ にあると推測される。